

1. 略歴

- 1981年 3月 東京大学大学院社会学研究科修士課程修了
- 1983年 3月 東京大学大学院社会学研究科博士課程中退
- 1983年 4月 東京大学教養学部助手
- 1986年 4月 法政大学社会学部専任講師
- 1988年 4月 法政大学社会学部助教授
- 1994年 10月 東京大学文学部助教授（東京大学大学院社会学研究科担当）
- 1995年 4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授（文学部担当）
- 2000年 4月 同研究科文化資源学専攻助教授（形態資料学専門分野）併任
- 2005年 9月 東京大学大学院人文社会系研究科教授（文学部担当）

2. 主な研究活動

a 専門分野

文化の社会学、社会意識論、社会学方法論、社会調査史

b 研究課題

概要

- (1) 歴史社会学の思想と方法。一つの基礎資料としての柳田国男を中心とした全集の編纂。
- (2) モノとしての書物をモデルとしたメディア文化の地層分析。読書空間論。
- (3) 社会調査の社会史。日本近代における調査の実践と方法意識の展開について。
- (4) 文字テキスト以外の資料へのテキスト概念の可能性の拡大。かわら版・新聞錦絵データベースの実験、など。

c 主要業績

(1) 著書

編著、佐藤健二・山田一成、『社会調査論』、八千代出版、2010.9
単著、佐藤健二『社会調査史のリテラシー』、新曜社、2011.1、604p.

(2) 論文

単著、佐藤健二「民間学者としての喜多川周之」『喜多川周之コレクション』東京都江戸東京博物館調査報告書第22集、東京都江戸東京博物館、2010.3：pp.123-148.

共著、佐藤健二・行吉正一「喜多川周之著作目録」『喜多川周之コレクション』東京都江戸東京博物館調査報告書第22集、東京都江戸東京博物館、2010.3：pp.162-168.

単著、佐藤健二「近代日本民俗学史の構築について／覚書」『国立歴史民俗博物館研究報告』第165集、国立歴史民俗博物館、2011.3：pp.13-45.

Kenji Sato, "Rumors Following the Kantô Earthquake of the Taishô Era," in *Bulletin of Death and Life Studies*, Vol.7, 2011：pp.54-116.

単著、佐藤健二「文化資源学の立場からの提言」、石川徹也・根本彰・吉見俊哉編『つながる図書館・博物館・文書館』東京大学出版会、2011.5：233-249.

単著、佐藤健二「喜多川周之コレクションの魅力」『喜多川周之コレクション 第2集』東京都江戸東京博物館調査報告書第26集、東京都江戸東京博物館、2012.3：pp.37-55.

(3) 予稿・会議録

単著、佐藤健二「総合的コメント：“非常の死”と“家族／社会／国家”と“想像の場”」、池澤優・アンヌ=ブッシェ編『非業の死の記憶』、東京大学出版会、2010.3：pp.367-375

Kenji Sato, "Comments on the Papers Delivered by Takeshi Hara and Khaled Azab," in *Commemorating the Dead in a Time of Global Crisis: Egypt and Japan in 2011*, edited by Tetsuya Ohtoshi and Susumu Shimazono, Global COE Program DALs: pp.84-89

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

静岡県立大学非常勤講師（2010年度～2011年度）、常呂町・北見市（2011年度）での講演

(2) 学会

日本社会学会、社会調査協会